

HTAエキスパート 養成プログラム

2025年度 基本コース受講生募集

募集締切：2025年4月30日(水)17時

東京大学公共政策大学院では、社会人や若手研究者等を対象とした「医療技術評価」次世代教育のための「HTAエキスパート養成プログラム」において、医療政策・評価に関して高度で実践的な能力を有する人材を養成します。

修得が期待されること		・グローバルな視点から厚労省の費用対効果評価ガイドラインの流れに沿った、医療技術評価や医薬経済学の基礎 ・あらためて厚労省の費用対効果評価ガイドラインを学ぶことを通して、さらに専門性を高める ・豊富な演習によって実践力を高め、各界からの多彩な講師陣とのネットワークを形成する
スケジュール		2025年5月8日～7月17日（木曜日 18:00-21:00）1週3時間、11週 計33時間
内容	第1週 5月8日	はじめに：基本コースの概要と目標
		日本の医療制度の概要と費用対効果評価制度の本格導入
	第2週 5月15日	新型コロナパンデミックと医療対応
		統計・臨床疫学など、知っておきたい基礎知識
	第3週 5月22日	医療技術評価の倫理的課題
		医薬経済学と臨床アウトカム研究（HEOR）の基本
	第4週 5月29日	費用対効果分析の手法(I)
		費用対効果分析の手法(II)
	第5週 6月5日	厚労省分析ガイドラインの解説 第1－6項
		厚労省分析ガイドラインの解説 第7－12項
	第6週 6月12日	厚労省分析ガイドラインの解説 第13－15項
		総合的評価（アプレイザル）をどう行うか
	第7週 6月19日	費用対効果分析の実例(I)
		中医協新薬価制度をどう見るか：HTAリテラシーとEBPM
	第8週 6月26日	電子カルテシステムを活用したデータ取得
		費用対効果分析の実例(II)
		評価力アップのための演習(I)：経済評価の手法
	第9週 7月3日	医療機器の評価や価格決定について
		実践力アップ：Tree Age Pro入門
	第10週 7月10日	評価力アップのための演習(II)：確率的感度分析
		評価力アップのための演習(III)：エクセルの活用
	第11週 7月17日	コースのまとめ講義
		修了証授与式

※スケジュール、講義内容については変更になる可能性があります。

【定員】30名程度

【会場】オンライン（最終回のみ本郷キャンパスにて対面開催予定）



募集要項